

福祉施設の直営を継続する 意思表示と認識してよいか

町長 優位性もあるため、当面は直営で運営したい



あびこひろまさ
我孫子 洋昌 議員

福祉施設の運営形態

質問

町 政執行方針にある「直営による福祉施設運営の強み」とは、何を指しますか。

町長 本町では高齢者福祉施設や病院を直営で運営しており、各機関が連携して、制度横断的な支援を迅速に行うことで「直営による強みを活かす」ことにつながるものと考えます。

再質問 福祉施設の運営に関する答弁事項進捗状況調査報告では、2回とも「然るべき時期に決断する」とありましたが、この執行方針で「直営体制を継続する」意思表示をしたと認識してよいですか。

そこで、道内の特別養護老人ホームのうち、「自治体直営」の総数を伺います。

副町長 道で公表している資料では、自治体が設置して直接運営しているところは23か所です。

再質問 全部で499件中の23件で、下川は少数派に入り

ます。これまでの様々な質疑で、町長は他の自治体を引き合いに出しますが、これは独自性を見てよいですか。

町長 給与体系を見ても、公務員として介護職を担うのは非常に安定していると考えます。町としては、当面は直営で運営したいと考えます。今後も、その優位性を職員にも認識していただきながら、運営を持続可能なものにしたいと考えます。

林業・林産業

質問 森林の利活用で新たな取り組みはありますか。

町長 企業版ふるさと納税やゼロカーボンシティと関連付けた施策への展開を模索していきたいと思えます。

再質問 林業、林産業についても様々な調査研究を推進し支援する施策を打つべきです。
町長 既存概念や固定概念を少しずつ払拭しながら、着実に新しいものにも挑戦していくことは必要だと思えます。

SDGsと教育

質問

S D G sの推進については、多様性を尊重する表記が見受けられます。個別対応と経営資源のバランスについて認識を伺います。

町長 審議会、監査、議会からの意見・提言などを踏まえ、政策と財政のバランスを考慮しながら、可能な限り対応できるように引き続き汗をかいていきたいと思えます。

再質問 多様性や個性を伸ばすというSDGsの考え方で育つ子供たちが大人になった時に、その考え方が下川町に反映されているかに懸かってくると思えます。

教育行政執行方針と町政執行方針との共通認識を伺います。
町長 町としても、教育を最重要課題として進めています。

子供たちには、何のために学ぶのかという視点を、一人一人が考えていける学習機会の場合、町、教育委員会が提供できるように、さらに連携し

て進めていきたいと思えます。

令和4年度の位置付け

質問

「この令和4年度が、大事な一年だった」と後世の方が認識できるように取り組みを進めるべきです。

町長 「2030年のありたい姿」の中には、「子供たちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」というのがあります。将来の子供たちに対して、私たちが何を提供していくことができるか、しっかりと考えていく時期に来ているのではないかと思えます。

残された任期の中で、公約も含めてしっかりと執行したいと考えます。

教育長 令和4年度は、withコロナを意識して、今まで続けてきた事業を今一度見直しながら続けていく事業、または見直し、廃止する事業、そして新たな事業も考え、町民のためになるよう施策を推進していきたいと思えます。